

2025 年日本国際博覧会 サイバーセキュリティ基本計画策定業務の公募型プロポーザル方式による事業者選定結果について

本事業について、公募型プロポーザル方式により事業者を募集し、下記のとおり最優秀提案者（契約候補者）を選定しましたので、お知らせします。

1. 審査手法

事業者から提案のあった内容について、4 名の評価委員会委員による審査を行い、契約候補者を選定しました。なお、審査にあたっては、令和 4 年 2 月 16 日に事業予定者プロポーザル評価委員会を開催し、プレゼンテーション及び質疑応答を通して、評価委員会委員による採点（100 点満点）を行いました。

2. 審査結果

(1) 最優秀提案者（契約候補者）

PwC コンサルティング合同会社 評価点 90.5 点（提案金額 税込 82,500,000 円）

(2) 提案事業者

PwC コンサルティング合同会社

3. 最優秀提案者の選定理由（講評）

- ・過去の実績が優れている。大規模イベントに関してもノウハウを有している。
- ・過去の実績に基づく現実的な提案である。各種脅威モデルをベースにした分析を行う点、それぞれを個別に見るのではなく総合的に判断する点は優れている。

4. 評価委員会委員

（敬称略）

氏名	所属・役職	選任理由
門林 雄基	奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 情報科学領域 サイバーレジリエンス構成学研究室 教授	NW 機器やソフトウェア等の部品レベルの信頼性や安全性に注目したアプローチに加えて、実働システムにおける被害軽減技術や、利用者やサービス提供事業者のミスを考慮した安全運転支援技術に対し研究をされており、サイバーセキュリティ、サイバーレジリエンスなどの運用の側面から審査を頂くため。
砂原 秀樹	慶応義塾大学メディアデザイン研究科 教授	インターネットを基盤とした安心・安全な社会を構築するためのセキュリティ、プライバシーの研究にも従事。プライバシー情報を統括管理する仕組みにも精通されており、インターネットを活用する時のセキュリティにおける技術的な側面から審査を頂くため。
高倉 弘喜	国立情報学研究所アーキテクチャ科学研究系 教授	情報セキュリティ、ネットワークセキュリティ等が専門分野。サイバーセキュリティ分野の専門家としての観点を中心に総合的に審査を頂くため。
三角 育生	2025 年日本国際博覧会協会 サイバーセキュリティ・デジタル顧問	博覧会協会のサイバーセキュリティ・デジタル顧問であり、現在の ICT 全体の方向性を示唆する立場より、サイバーセキュリティにおける広い知見で審査を頂くため。

以上